

アックドがその指導者となつた。請は斯うである。マアクヘッド機械工場では二十の代議員があつたが戦争のために之が六十に増房せられ、デビッド、カアクドがその頭といふに選舉せられた。處が一九二五年七月二日英國の軍需品製造法令の發布と共に中央の組合は我等の利益を代表しないものだとし反抗的宣言をした。そしてロイド、チヨオデにカアクドは斯う云ふた「労働者は社會主義の如く労働者監督法に賛成するが、労働者自身がその監督をする権能を附與せらるるでなければ賃銀が低下することを恐れて居る」と彼等は工場自治を主張したのである。その罪で彼は捕縛せられクライド市から追はれた。

然し、工場代議員選舉は直に全國に蔓延して初めは機械工業に始まつたものが他の多くの工業に擴まつて行つた。遂に機械工業雇出協同労働組合の聯合協議會はこのショップ、スチュワートを承認した。(A.S.E.は之を承認しなかつた)

又一九一七年十二月機械工業雇出協同組合及その外の十三の労働組合が協議を開いて工場代議員の任務を限定して争議紛擾の調停の方法を決定した。この十三の組合といふものは蒸氣機工、器具製造、鋸治、真鍮鑄物工、金屬工、木工、電工、一般労働活字鑄物工、コエアアメエカア、火夫組合等であつた。然し今日では紡績、木工、靴工等にまで擴がつてゐる。

此の運動の哲學者であり豫言者であると云はれて居る人はマアフキイといふセフキールドの人である。彼は『労働者委員に就て』と